

平成 28 年 第 2 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 28 年 2 月 16 日 開会

平成 28 年 2 月 16 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成28年 第2回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成28年2月16日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第2号 教育長の一般経過報告について
 - 2 議案第3号 平成28年度教育委員会関係予算について
 - 3 議案第4号 平成27年度教育委員会関係補正予算について
 - 4 議案第5号 平成28年度教育行政方針の設定について
 - 5 議案第6号 岩見沢市北村農業資料館条例の廃止について
- そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫
教 育 長	舛 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教 育 施 設 課 長	坂 口 暢 明
子 ど も 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	勝 田 真 澄
緑陵高等学校事務長	川 原 卓 也
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成 28 年第 2 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、渡邊委員さんをお願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 2 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○舩甚教育長 平成 28 年 1 月 13 日から 2 月 7 日における事務処理の概要について、ご説明申し上げます。

1 月 20 日、小・中学校適正配置に関する意見交換会を、美流渡小学校就学前の子どもを持つ保護者を対象に行いました。

2 月 7 日、第 40 回空知ファミリー書道展表彰式がありました。この書道展は全道的に始まったものですが、今続いているのは空知だけということです。398 人、945 点の作品が集まったということですが、北海道新聞の関係者からは岩見沢市書道連盟が一生懸命やってくれているおかげ、という話をいただいております。これからもぜひ続けていきたいと思っております。

そのほかは、記載のとおりでございます。

○武蔵委員長 ただ今、教育長のほうから、一般経過報告がありました。

委員の皆様から、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。

特にございませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、特にないということでございますので、本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 それでは、議案第 3 号から第 6 号まで、一括してご説明いたします。

議案第 3 号 平成 28 年度教育委員会関係予算について。

平成 28 年度予算の内示がありましたことに伴い、市議会の議決を経るべき教育委員会関係予算案について、ご意見を伺うものであります。

議案第 4 号 平成 27 年度教育委員会関係補正予算について。

市議会の議決を経るべき平成 27 年度教育委員会関係補正予算案について、ご意見を伺うものであります。

議案第 5 号 平成 28 年度教育行政方針の設定について。

平成 28 年度の教育行政を進める上での基本的な考え方、方向性を示すものであります。

議案第 6 号 岩見沢市北村農業資料館条例の廃止について。

収蔵資料を他の施設において適切に管理し、より効果的に活用するため、関係条例を廃止する条例案を、3 月に開催される市議会第 1 回定例会に提出することについて、ご意見を伺うものであります。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、日程番号2、議案第3号 平成28年度教育委員会関係予算について を審議いたします。

説明をお願いします。

○名和田教育部長 議案第3号 平成28年度教育委員会関係予算について、私のほうから、平成28年度一般会計予算の規模について、机上に配付しました資料に基づいて説明をいたします。

一般会計の予算総額は503億円で、前年度対比37億円の増、率にして7.9%の増となっております。

この主な理由としては、消防庁舎建設負担金の13億6,000万円の増、学校給食共同調理所建設の6億1,000万円の増、栗沢こども園建設の3億7,000万円の増によるものであります。

次に、裏面の一般会計予算の概要についてご説明いたします。

教育費は52億円で、一般会計全体の10.3%を占めています。

平成27年度と比較しますと7億8,000万円ほどの増となっております。

それでは、引き続き詳細について、各課長よりご説明いたします。

○加藤学校教育課長 平成27年12月、第12回教育委員会定例会におきまして、協議13としてご協議いただきまして、了承いただきました平成28年度教育委員会関係予算見積りにつきまして、1月下旬に予算内示がありましたので、変更点を提出資料によりまして、査定内容をご説明してまいりたいと思います。

まず、学校教育課所管分からご説明いたします。

資料1-1をご覧ください。学校管理事業でございます。

これにつきましては、小学校費で、光熱水費、電気料の精査を行いまして、369万4,000円の減。中学校費、同様に光熱費、電気料の精査におきまして、246万3,000円の減、合計いたしまして、615万7,000円の減という形になります。

続きまして、スクールバス運行管理事業でございます。

20万円が減額となっておりますが、バス駐車場の排雪手数料の減によるものでございます。

次に、就学援助事業でございます。

小学校費で84万9,000円、中学校費で1,104万1,000円の減、合計いたしまして1,189万の減となっております。

今年度から、予算要求しておりました、就学援助の、いわゆる3費目のうち、クラブ活動費が査定減となっております。

これにつきましては、他の生徒会費・PTA会費と比較しまして、クラブ活動への加入が任意であること、あるいは補助単価が高額となるためなどの理由で、クラブ活動費の計上については見送られました。

以上でございます。

○兼平指導室長 それでは、指導室の関係についてご説明いたします。

初めに、みらい広がる学校活動支援事業についてです。

塾との連携による土曜学習会が、別途新規事業のなかで認められたことに伴い、100万円を減額するという査定でございます。

次に、特別支援教育推進事業です。

特別支援教育支援員を2名増で要望しておりましたが、残念ながら認められず、その分が減額となっております。

次に、教育指導振興事業でございます。

土曜学習会と囲碁授業が、学力向上対策事業として新規事業枠になったことに伴い、その分が減額となっております。

次に、外国語指導助手活用事業です。

こちら、土曜キッズ英会話が新規事業枠となったため、その分が減額となっております。

次に、教育支援センター事業です。

スクールソーシャルワーカーが嘱託職員として認められましたが、報酬が当初要求よりも減額となりました。また、スクールソーシャルワーカーの常勤化と引き替えに、スクールカウンセラー、スーパーバイザー、医療アドバイザーの勤務日数増が叶わなくなりまして、その分が減額となりました。

最後に、学力向上対策事業でございます。

先ほど申しあげましたとおり、土曜学習会、土曜キッズ英会話、囲碁授業がこちらの新規事業に移行となったところでございます。

以上です。

○町田学校給食課長 学校給食課の予算内容についてご説明いたします。

初めに、学校給食共同調理所運営事業でございます。

主な変更点といたしましては、食物アレルギー対応及び食育推進のための栄養士1名を要望しておりましたが認められず、その分が減額となりました。また、学校給食で出る残さをたい肥化するための、生ごみ処理手数料につきましては、受け入れ側の施設との調整によりまして、56万円増額の315万円に増額となりました。総額で333万5,000円減の5億5,527万8,000円となりました。

次に、学校給食共同調理所整備事業でございます。

現在設計中ですが、設計業者が概算の工事費を算出しておりましたところ、予算要望後に予定より増額となったことが判明いたしました。また、平成28年度と平成29年度2か年の工事の割合を、3対7から2対8に調整したことで、設計業務委託費を192万円、工事請負費を2,740万円それぞれ減額となり、総額で6億1,400万円となりました。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の新年度予算の変更部分について、ご説明をいたします。

初めに、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。

岩見沢郷土科学館の管理運営などに関わる予算でございますが、消耗品費及び修繕費で38万3,000円が減額となり、2,732万円の計上となっております。

次に、地域文化振興事業でございます。

端数整理で、消耗品費が8,000円減額となり、612万円となっております。

次に、文化のまちづくり事業でございます。

野外音楽堂や市民会館・文化センターで開催する、芸術・文化イベントに対する補助事業であります。新年度は対象事業を、より芸術性・公共性の高いものに絞って補助することとしまして、300万円が減額となり、1,200万円の計上となっております。

次に、健康・スポーツ振興事業でございます。

スポーツ推進委員報酬の増額を見積もっておりましたが、今年度と同額となり、63万4,000円が減額になるとともに、保険料、消耗品費で、14万2,000円が減額となりまして、1,085万2,000円の計上となっております。

最後に、社会教育施設等管理事業でございます。

北村環境改善センター及び北村トレーニングセンターにおける指定管理委託料が、95万1,000円の増額、市民会館・文化センター、野外音楽堂、東山・岡山地区スポーツ施設における指定管理委託料が、178万2,000円の減額となり、総額で3億5,135万5,000円となっております。

以上でございます。

○坂口教育施設課長 教育施設課予算の変更部分についてご説明いたします。

初めに、校舎等管理事業でございます。

総額9,497万2,000円の減額となっております。小学校の部分では、主に2本の委託料で、2,250万3,000円減となっております。中学校の部分につきましては、主に2本の工事が7,246万9,000円減となっております。

次に、小学校校舎等耐震化事業でございます。

100万円の減額となっております。これは南小学校の備品購入費が減額となったものでございます。

続きまして、小学校校舎等改築事業です。

これは新規事業といたしまして、中央小学校の改築に向けた設計業務等を行うもので、6,000万円が付きました。

続きまして、文化施設管理事業でございます。

総額2,040万円の減額となっております。下のほうにございます、文化センターの2本の修繕と、1本の改修工事が査定減となっております。

続きまして、体育施設管理事業でございます。

こちらは、1億873万6,000円の減となっております。

主な減額の内訳としましては、東山公園陸上競技場の用具器具の購入で13万6,000円、岡山スポーツフィールド管理棟基礎設置修繕150万円、それから、総合体育館雑用水ポンプ取替え修繕の50万円、多目的体育館非常照明蓄電池取替え修繕で160万円、栗沢球場スコアボード等修繕1,800万円、栗沢B&G海洋センター屋根・外壁等改修工事8,700万円となっております。

なお、栗沢B&G海洋センター屋根・外壁等改修工事につきましては、B&G財団のほうに補助申請を上げておりましたが、全国的に緊急性の高い物件が優先されるということであり、今回は採択されませんでした。次年度、再度要求したいと思っております。

教育施設課、以上でございます。

○所子ども課長 それでは、子ども課の予算の内容について、説明をいたします。

初めに、あそびの広場運営事業でございます。

現在、3月20日のオープンに向けて準備を進めている、であえーる岩見沢3階のあそびの広場は、振興いわみざわに指定管理委託をいたします。

あそびの広場の運営費については、要求段階では受付システムについて交渉中であったことから、その経費を概算で計上しておりましたが、交渉の結果、経費が圧縮されたことなどにより、109万9,000円の減額となりました。

次に、児童厚生施設運営事業です。

市内に12館ある児童館の施設改修については、児童館改修計画に基づき順次整備を進めておりますが、当初計上していた東栄児童館遊戯室の屋根改修工事については、施設の現状から緊急性が高くないと判断されたため、当面見送りとし、647万円の減となりました。

次に、保育所入所運営事業です。

特別保育推進事業補助金のうち、延長保育にかかる補助金2,080万円については、一部公定価格として組み込まれており、運営に支障がないということが明らかになったことから、1,690万円の減額となりました。

平成28年度の主要事業として、保育料の第2子無料化、基準額表の減額細分化などを行うことになりましたが、これについては歳入の変更という形になります。

次に、栗沢地域子育て施設等整備事業です。

新園舎整備に伴う備品購入費について、約1,000万円の要求額から、10%の減額査定となったほか、設計委託料などの端数を整理し、合計で122万1,000円の減額となりました。

最後に、幼稚園入所運営事業です。

新制度に移行する予定の天使幼稚園、聖十字幼稚園に対する運営費については、公定価格から保育料を差し引いた額を園に対して支給することとなります。

先ほど説明した保育所入所運営事業と同様、第2子無料化、基準額表の減額細分化を実

施することにより、公定価格から差し引かれる保育料収入が少なくなることから、園に支給する運営費が多くなります。そのため、1,543万2,000円の増額となりました。

以上でございます。

○勝田図書館長 それでは、図書館の変更部分について、ご説明させていただきます。

図書館活動運営事業でございます。

8,167万2,000円から8,348万4,000円と、181万2,000円の増となっております。

これは、嘱託職員1名分の増額でございます。図書館職員が1名増えるということではなく、正規職員が1名今年度末で退職することになりまして、後任には正規職員の配置を希望したところがございますが、急な退職のため現状で正規職員の配置についての判断は難しいということから、嘱託職員1名分を増額する予算措置となったところがございます。

以上でございます。

○川原緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校の変更部分について、ご説明させていただきます。

初めに、学校管理事業です。

7,255万円から6,926万7,000円ということで、328万3,000円の減額となったところがございます。主な減額の理由といたしましては、駒澤高校跡地の野球場の整備費などが減額査定されたものでございます。

次に、教材教具整備事業でございます。

3,258万4,000円から3,119万8,000円ということで、138万6,000円の減額となりましたが、これは、トレーニング機器等につきまして、638万6,000円を要求していたところ、500万円に減額査定されたものでございます。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、議案第3号について、それぞれ担当の課のほうから説明がございました。

説明がありましたとおり、12月に協議という形で審議しておりまして、今回は変更部分について説明いただきました。課ごとに、それぞれ委員の皆様のご意見ご質問等を伺っていきたいと思います。

初めに、学校教育課について、何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 就学援助事業の、生徒会費・PTA会費については、新規ということでしたか。

○加藤学校教育課長 いわゆる3費目のうちの2費目、生徒会費とPTA会費については、平成28年度からの新規の予算です。

○武蔵委員長 はい。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、指導室の関係で、何かご意見ご質問がありましたらお願いします。

○杉野委員 特別支援教育推進事業についてですが、ここ数年の支援員増員により学校現場は助かっていたのではないかと思います。支援学級に入級する児童の増加、あるいは普通学級において個別に支援を行う子どもたちのため有意義に活用されてきたものと思っており、来年度も2名ほどの増員について期待していたところでしたが、増員されないということでした。何か大きな理由などございましたら、教えていただきたいと思います。

○兼平指導室長 支援員については地方交付税交付金で1校当たり1名まで措置されるということがあり、平成27年度まで増員を認めていただいていた経緯がございます。新年度についても増員を要求したところですが、1校1名を平成27年に達成したということもありますので、新たな理論構築をして臨まないという状況でございます。

○杉野委員 はい、分かりました。

○武蔵委員長 そのほか、何かありますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それでは、学校給食課の部分について、何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 共同調理所の関係は、実質的には増額となっているということで、28年度でみると少なくともはなっていますが、2年間では増える形の予算となっているということでよろしいですか。

はい、続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の関連につきまして、何かございますか。

(「ありません」という声あり)

それでは、教育施設課の部分についてお願いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 1点、お伺いしたいんですが、そもそも校舎等管理事業で、中学校かなり増額した要求してましたけれども、その部分はこういった案件だったのでしょうか。

○坂口教育施設課長 工事を2本要求しておりまして、雨漏りがしている豊中学校の屋内体育館屋根の改修と光陵中学校の屋根の改修を要求しておりましたが、両方とも要求が通りませんでした。

○武蔵委員長 教育施設課について、ほかに何かございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、子ども課について、お願いしたいと思います。

子ども課は特に大きな変更はございません。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 図書館の部分ですけども、嘱託職員報酬の増ということですね。何かござ

いますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 最後に、緑陵高等学校について、何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 そうしましたら、全体を通して、プラスのところもありますけれども、マイナスのところもありで、12月の段階から見るとだいぶ減額もされてきてます。

市の財政も問題もありますし、いろんな優先順位の問題もありますけども、今年度につきましては、こういう形で予算(案)として、上程していきたいということですがよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、特にご異議はないということでございますので、議案第3号につきましては、原案のとおり決定といたします。

この案をもって、3月の市議会定例会に上程させていただきます。

また、教育委員会の予算については、やはり教育委員会として、教育の大きな目標の中で、今どのステップにあって、その年度においてはどのような仕事をするんだということが、予算を説明していく中で、必要なことかと思しますので、今現在も、皆さん頑張られていると思いますけれども、今後ともそういう姿勢でお願いしたいと思います。

それでは、議案第3号については、以上で終了いたします。

続きまして、日程番号3、議案第4号 平成27年度教育委員会関係補正予算についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○加藤学校教育課長 議案第4号 平成27年度教育委員会関係補正予算について、ご説明いたします。

各課から補正予算要望を提出したのですが、現在、企画財政部において、3月市議会定例会に上程するか検討しておりますことから、今後変更することも予想されますが、本日現在の要望額について、ご説明申し上げます。

3月補正事業一覧でございますが、学校教育課所管分として、5事業を要望しております。

小学校教育用コンピュータ整備事業につきましては、教育用コンピュータ及び教職員コンピュータの借上料でございますが、契約額が予定よりも下回ったことから、251万6,000円の減額要望でございます。

同様に中学校教育用コンピュータ整備事業でございます。これも入札により契約額が決まりまして、72万5,000円の減額要望となるものでございます。

3番目、小学校管理事業でございます。

嘱託職員の配置予定校に、市の正規職員が配置されたことによる報酬の減額、さらには、燃料単価が当初予算の見積もり段階から下がっているため減額することとし、合わせまし

て、2,162万7,000円の減額要望です。

次に、中学校管理事業でございます。

燃料単価が下がったことにより減額することとなります。2,029万5,000円の減額要望でございます。

最後に中学校就学援助事業は、認定者数の増、及び修学旅行の平均単価が、6万3,000円から6万6,000円に増えたことによる扶助費の増額で、47万5,000円の増額要望しているところでございます。

○兼平指導室長 指導室は2事業に関わって補正がございます。

特別支援教育推進事業につきましては、幼児ことばの教室、当初、嘱託職員配置予定でしたが、正規職員が配置されたことによりまして、報酬の減額となっております。

外国語指導助手活用事業につきましては、8月に新規のALTが赴任、そして契約の終了したALTが帰ると、これについての費用が、予定を下回ったことによりまして、減額となっております。

以上でございます。

○町田学校給食課長 学校給食課は、学校給食共同調理所整備事業の補正についてご説明します。

設計業務等の入札差金、679万2,000円を減額いたします。

また、これに伴いまして、次のページになりますが、平成28年度債務負担行為の限度額を1,061万8,000円とし、財源を記載のとおり補正するものであります。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 当課から、1件の補正要望としまして、健康・スポーツ振興事業の寄付金の増によるものでございます。

市では、市民のスポーツ及び文化の振興を図るため、平成4年に岩見沢スポーツ・文化振興基金を設置しており、寄附金などの収入をもって充てることとしております。

平成27年度において、これまでにスポーツ振興として、3件18万円の寄附があり、当初予算では、1,000円の予算組みをしておりましたことから、17万9,000円を補正し、基金への積み立てを行うものでございます。

なお、今年度、これまでに文化振興としての寄附はございません。

以上でございます。

○坂口教育施設課長 はじめに、小学校校舎等管理事業でございます。

志文小学校の校地環境整備工事、いわゆるグラウンドの工事でございますが、その入札差金と国庫補助金の増額、起債の減額ということで、809万5,000円の減額となっております。

続きまして、小学校校舎等耐震化事業、これは、南小学校・幌向小学校・東小学校の工事の入札差金、それから、南小学校の備品購入費の減額、それから国庫補助金の増額と起債の減額ということで、合わせまして3,631万6,000円の減額でございます。

続きまして、北村トレーニングセンター運営事業、これは、北村トレーニングセンターの屋根の改修工事の入札差金と、年度途中で過疎地域自立促進計画に搭載ということで、起債の増額ということで428万8,000円の減額補正でございます。

それと、次のページでございますが、債務負担行為の補正でございます。小学校校舎等耐震化事業で、南小学校の分でございますが、合わせまして467万8,000円の債務額の変更ということでございます。

以上です。

○所子ども課長 子ども課の補正予算要望は、各事業の執行残といった決算調整にかかる減額が4点、予算執行に不足を生じる見込みとなる増額が3件となっています。

はじめに、青少年育成事業です。

青少年健全育成事業に対していただいた寄附金を、基金に積み立てるため、寄付金と同額の積立金を計上いたしました。

次に、保育所入所運営事業です。

予算措置段階では、子ども・子育て支援新制度に伴う公定価格が確定していなかったため、旧制度での見積りとしておりましたが、公定価格が従来の運営費よりも高く設定されており、予算に不足を生じる見込みとなったことにより、約1億3,000万円の不足額について増額補正いたします。

次に、特別保育所運営事業です。

へき地保育所であります北村保育所において、入所児童数により、加配を想定していた保育士について、加配を行う必要がなかったことなどにより、279万7,000円を減額いたしました。

次に、栗沢地域子育て施設等整備事業です。

基本設計、実施設計、地質調査、測量などの委託料の入札差金、544万5,000円を減額いたしました。

次に、幼稚園管理事業です。

すみれ幼稚園の入園児減に伴い、複式学級としたことから、3名の補助教諭を2名といたしました。それにより不用となった1名分の報酬など、207万4,000円を減額いたしました。

次に、幼稚園就園奨励事業です。

就園奨励事業の対象となる第3子が、予定よりも多かったことにより生じた不足額、134万6,000円を増額計上いたしました。

最後に、幼稚園就園特例奨励事業です。

この事業は、市の独自の制度で、18歳から数えて第3子以降の、幼稚園保育料無料化によるものです。

所得が高いなどの理由で、就園奨励費の対象外となった第3子以降について、特例奨励費が支給されますが、本年度は、就園奨励費で対象となる児童が多かったため、特例奨励

費で賄う奨励金が少なくなりました。

そこで、459万5,000円を不用とし、減額補正をいたしました。

以上でございます。

○勝田図書館長 図書館の説明をさせていただきます。

図書館活動運営事業ですが、空調システム及び湯沸かし器修繕による需用費の増額、並びに清掃等入札差金による委託料の減額ということで、71万8,000円の減額となっております。

次に、来夢21施設管理事業でございます。

来夢21施設管理事業につきましては、清掃等入札差金による委託料の減額並びに、屋上防水工事の入札差金による工事請負費の減額により、135万5,000円の減額となっているところでございます。

以上でございます。

○川原緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校でございます。

下段、高等学校一般会計からの繰出金です。1ページめくっていただきまして、緑陵高等学校の学校管理事業ということですがけれども、昨年11月18日の第7回教育委員会定例会で、人件費の補正ということをご提案させていただきましたが、結果といたしまして、市の人件費の補正が3月補正に回ったということで、今回改めてまた、提案させていただいたところでございます。

人件費につきましては、給与・手当・共済費合わせて1,381万1,000の増補正。それから、燃料費・光熱水費で380万円の減額補正、合わせて、1,001万1,000円の増額補正となったところでございます。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、ただいま、議案第4号についてそれぞれの担当課から説明がございました。

3月補正ですので、決算見込みに基づいた形になっていると思います。

これにつきまして、委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 なお、保育所関係と緑陵高校で一般財源が大きく出てますけども、これは制度の問題です。最終的には地方債を合わせると8千万円ほど市の持ち出しが減ることになりました。

それでは、特にご異議がないということでございますので、一応、今現在の段階ということで、うまく企画財政との調整を終えて、進めていただくということで、決定をしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、議案第4号につきましては、原案のとおり決定いたします。

これにつきましても、3月の市議会第1回定例会のほうに提出をさせていただきます。
続きまして、日程番号4、議案第5号 平成28年度教育行政方針の設定についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○舩甚教育長 平成28年度教育行政方針につきまして、提案させていただきます。

2月5日に、委員の皆様にご集まいただき、推敲し、その後、教育委員会内部でも、再度検討いたしまして、案のとおりといたしました。

教育大綱に準拠したものを作るということ、それから、もうひとつは、簡潔明瞭にして、重点的な事だけ述べることで、それから、3点目は文言の整理ということで、例えば教育大とか、さまざまな書き方があるのを、北海道教育大学岩見沢校だとか、そういうような文言を整理しながら、読みやすい文章にするということで、作成いたしましたので、ご承知おき願いたいと思います。

では、1ページ目、「Ⅰはじめに」からご説明申し上げます。

このはじめに、につきましては、教育がこれから社会全体の一層の発展を推進する基盤とならなければならないということで、学校教育については、生きる力をつけて、そして子どもたち一人ひとりが輝く岩見沢の教育づくりを推進していくということで、昨年につき、また力を入れてやっていきたいということでございます。

社会教育につきましては、生涯にわたって、主体的に学ぶ環境づくりを進めるということで、それについても教育大綱に沿ったような形で、載せております。

また、子ども・子育て支援については、笑顔で子育てできるまちづくりというように、基本方針のサブタイトルにあるような中身を「Ⅰはじめに」に盛り込んでおります。

続いて、中身に入ります。

施策の概要について、述べております。

「Ⅱ学校教育の推進」についてです。

これにつきましても、前回学習会のときには、学力の向上・定着を一番目に上げていきましたが、教育大綱に沿った形にするために、新しい時代に対応できる力の育成ということで、述べております。

授業スタイルの統一や小・中学校の連携による学力向上の取組みの推進ということについて述べています。

続いて2点目、次のページです。

豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進ということで、これにつきましても、教育大綱の中身と相関性を持たせるために、従来やっていること、これから取り組むこと等について述べており、子どもたちの豊かな人間性、健やかな体の育成を図ってまいりたいと思っています。

3点目、育ちと学びを支える教育環境の充実ということで、いじめ防止基本方針に基づいて整備した岩見沢のいじめ問題対策連絡協議会の組織や、教育支援センターの機能の充

実などを図るなどして、子どもたちを、一人ひとりを支援していきたいと思っております。

また、教育研究所での確かな学力の育成と教育大学と連携を図って、充実強化を図ってまいりたいと述べております。

4点目が、信頼と期待に応える開かれた学校づくりでございます。

この部分については、教育大綱には記載がありません。ここは教育独自で外せない部分ではないかと思っておりますので、入れさせてもらいました。

授業づくりのまち岩見沢として、教えるプロ、頼りがいのある先生方を育ててまいると共に、地域と連携して、子どもたちを守り育てていくと述べております。

5点目、緑陵高等学校の教育の充実につきましては、前回の内容と変わっておりません。

6点目、学校給食の充実についてでございます。

安全・安心、それから食育の推進、食物アレルギー対応等について述べております。

一番下ですけれども、新調理所の整備につきましては、平成29年度中の供用開始を目指して、整備工事を進めてまいりますと述べております。

ここではっきり年度を明記することで、共同調理所方式で作ることを明確化いたしました。

次に、「Ⅲ社会教育の推進」についてです。

1点目が、生涯学習の充実ということで、生涯にわたって生きがいのある豊かな人生を送るために、環境づくりをしていきます、と述べております。

2番目の、芸術・文化活動の推進につきましては、文化連盟や教育大学岩見沢校と連携して、自主的な文化活動を支援してまいりたいとも述べております。

また、文化施設、郷土資料等の整理についても、記載のとおりとなっております。

3点目、スポーツ活動の推進についてですけれども、市民の誰もが将来にわたりスポーツに親しむということで、述べております。

また、ここに岩見沢市体育協会をはじめスポーツ推進委員、教育大岩見沢校との連携を図りながら、幅広い世代が気軽にスポーツに楽しめる機会を充実してまいりたいと述べております。

また、東京パラリンピックの開催に向けて、合宿誘致にも取り組みますと記載しております。

図書館運営につきましては、地域の知の拠点として、これからもさまざまな情報の提供、資料の収集等を行っていくとともに、今、本当に図書館が一生懸命取り組んでいるさまざまな事業について、ここは具体的に事業名をあげさせていただきながら、これからも継続して実施していくと述べております。

ブックスタートやベビカフェなど、子どもが切れ目なく読書に親しむような環境づくりをしていきますと述べております。

次に「Ⅳ子ども・子育て支援の推進」についてでございます。

これは、岩見沢市子ども・子育てプランに基づいて、楽しく子育てができるような環境

づくりを行っていくことやえみふるの活用について、詳しく述べております。

子育て支援センター、幼児ことばの教室、あそびの広場、保健センター、これらを集約したえみふるが完成して、これが岩見沢市の子育ての拠点になります、と述べてあります。

子育て相談体制の充実、これにつきましては、えみふるや教育支援センター、また、子ども発達支援センター等を伝えながら、全ての子ども達に対応して、親が、保護者が安心して子育てができる環境づくりを進めていきたいと思っております。

3点目、放課後児童クラブですが、これについては、従来と同様に充実した活動を推進するとともに、小学校6年生までの対象学年の拡大について、市議会でも答弁しておりますので、拡大について検討してまいりますと記載させていただきました。

4点目、青少年健全育成につきましては、特に今、SNS等、インターネットの利用の問題もありますので、これについても、取り組んでいきますと述べております。

「Vおわりに」については、岩見沢で子育てがしたい、岩見沢で学びたい、岩見沢に住みたいという、誰もが思える地域づくりに貢献できるということで、教育面だけではなく、市の総合戦略にある地域づくりの一役を担うような教育行政方針、教育行政であってほしい、あるべきだということをそう述べています。

以上、本当に概略を説明いたしましたので、順を追って、ご協議のほどよろしくお願いたします。

○武蔵委員長 はい、ただいま、議案第5号について説明がございました。

学習会は、非公式、非公開ではありますがけれども、教育委員の皆様とご一緒に、原案を読ませていただいて、再度検討して、提出していただいたということです。

教育大綱、より簡潔にそして明瞭にということで、修正していただいたので、順を追って進めていきたいと思えます。

まず1項目の、はじめにの部分です。

この部分について何かお気づきの点、ご意見等ありましたら、お願いしたいと思います。

ここで決まった文章は、教育長が議会で発表し、その後も、市のホームページに、1年間掲載される文章となっておりますので、よろしくお願したいと思います。

はじめにについては、教育委員会がこういう形で、教育行政をリードしていくという内容となっておりますので、先へ進んでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それでは、2つ目の学校教育の推進のという部分についてお願いしたいと思います。

先ほど教育長のほうからありましたけれども、確かな学力の育成、教育の推進ということから、新しい時代に対応できる力の育成までということで、項目がありますけれども、中身は一緒でございます。

確かな学力についてという、タイトルが変わりましたか。

○舛甚教育長 重点的に、岩見沢の課題である学力の定着について、しっかり取り組んでいくということで、書かせていただきました。

○武蔵委員長 あくまでも最重点ということだと思います。

2点目は、豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進ですが、自尊感情、自己肯定感ということで、少し変更となっております。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

3番目の育ちと学びを支える教育環境の充実については何かありますか。

(「ありません」という声あり)

4点目の信頼と期待の応える開かれた学校づくり、については何かありますか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

5点目、緑陵高等学校に教育の充実については、何かありますか。

(「ありません」という声あり)

6点目、学校給食の充実については、教育長が言ったように平成29年度の供用開始を目指す、実際議会でも答弁しておりますし、それを実行するという事です。

学校教育の部分全般を通して何かありますかでしょうか。

(「ありません」という声あり)

続きまして、社会教育の推進についてです。

1点目の生涯学習の充実については、何かありますか。

(「ありません」という声あり)

2点目の芸術・文化活動の推進についてはどうでしょうか。なければ、3点目のスポーツ活動の推進についてはどうでしょうか。

無ければ図書館運営の充実についてはどうでしょうか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

そうしましたら、社会教育の推進についても、このとおりでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

続きまして、子ども・子育て支援の推進ですが、1点目、子ども・子育て支援の充実ということで、えみふるが出来上がりましたので新たな説明文が入っております。

○秋山委員 第2子の保育料無料化について説明していただけますか。

○名和田教育部長 同時に子どもが2人入園した場合、今まで国の基準によると、第2子の保育料は2分の1でしたが、岩見沢市独自で無料化したものです。

○武蔵委員長 2点目で、子育て相談体制の充実ということで、新たな項目が1つ増えています、どういことでしょうか。

○舛甚教育長 これは教育大綱に準拠しました。

○武蔵委員長 3点目の放課後児童クラブの充実についても、小学校6年生までの対象年齢拡大を検討していく、また4点目が、青少年健全育成の充実ということですが、子ども・子育て支援の推進の部分はよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

最後に、おわりにということですが、これは教育大綱に基づいて施策を進めていくということですので、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

全体を通して、特にご異議がなければ、この案を承認したいと思います。また誤字脱字があった場合は、事務局に一任をするということで、中身についてはこれで了解をすること、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは、特にご異議がないということでございますので、議案第5号については、原案のとおり決定いたします。

それでは日程番号5、議案第6号 岩見沢市北村農業資料館条例の廃止についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、議案第6号 岩見沢市北村農業資料館条例の廃止について、ご説明いたします。

先日の臨時会にて、北村農業資料館の現状の課題と今後の施設運営等につきまして、説明させていただきましたが、施設の閉館に伴う条例の廃止でございます。

次のページ、参考資料をご覧ください。

北村農業資料館の概要等を記載しております。

岩見沢市北村農業資料館は、北村の農村生活文化資料の保管等を目的に、昭和57年に開設した施設でございます。

これまで北村の農業をはじめとする歴史を後世に伝える施設として、利用されてまいりましたが、開設から30年以上が経過し、施設の老朽化が顕著となっており、適切な資料展示・保管が困難な状況でございます。

また、入館者数も年々減少傾向にございます。

そのため、当該施設を閉館のうえ、収蔵資料の一部を北村地域の他施設に移転展示し、資料の効果的な活用を図ろうとするものであります。

施設の運営は、今年度末までとし、廃止条例の施行日は、平成28年4月1日としております。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○武蔵委員長 ただいま、議案第6号について説明がありました。

内容については、前回の臨時会で、協議していただいたとおり、これにつきまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

なければ、このとおり決定をさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ご異議がないということでございますので、原案のとおり決定とさせていただきます。
これをもって、3月の市議会定例会に上程させていただきます。
続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かお持ちの方いらっしゃいましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 1点だけお聞きしたいのですが、緑陵高校の願書出願状況が、出願変更後として発表になってましたけど、現状についてどういうふうに、学校の方としてはとらえられているのでしょうか。

○川原緑陵高等学校事務長 出願状況ですけれども、当初、普通コース定員120名のところ、133名。出願変更で普通コースは1増の134名になっております。

スポーツ総合コースが2増で、当初20名のところに22名という状況になってございます。

情報コミュニケーション科につきましては、当初66名のところ1人増で、67名という状況になっているところでございます。

緑陵高校の分析ということですが、普通コースにつきましては、やはり4間口から3間口減ったということで13、4名程度がオーバーしているというのが実際のところだと思います。

スポーツ総合コースにつきましては、直接照会したわけではないのですが、どれぐらいのランクで入れるのかというような情報が、中学校サイドでは分からないということで、横にらみのような状態だったのではと考えているところでございます。

ですから出願変更も2名ではありますが、これも、それが影響しているかと思っております。

いずれにしても、そう多くはないと思いますが、今後、推薦の決定を受けて漏れた人たちが、今度再出願ということで、そこら辺の動向が確定して、最終3月3日の試験を受ける人数が決まってきます。

情報コミュニケーション科につきましては、例年、定員を満たしているおりましたが、管内の中学卒業生も、昨年5月現在の情報では、85名程度減少しているということで、これも影響していると思っております。

管内の高校で、定員を超えているのは、本校の普通コースと岩見沢東高校のその2校だったと思います。今、正確な資料持ち合わせておりませんが、あとは、全て定員割れの状態でした。

今後も緑陵高校に来てもらえるように、子どもたちの育成に力を入れていきたいと思っております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

最終確定というのはまだなのですね。わかりました、ありがとうございます。

他にその他お持ちの方いらっしゃいますか。

なければ事務局から、その他お持ちの方いらっしゃいましたら、お願いします。

○兼平指導室長 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書について、ご説明いたします。

机上に配布させていただきました、資料をご覧いただきたいと思いますが、大変分厚くなっております。

今年度は、小学校では、T得点、これは全国を50とした場合の点数ですけれども、男女とも、2ポイント程度昨年より高くなりました。

男子が49.2、女子が48.4と、全国まであと1歩となっております。

中学校は、男女とも昨年とほぼ同様の成績となっております。

男子が47.4で、若干昨年を下回り、女子が45.0で、若干昨年を上回っております。

個人的な考えではございますが、岩見沢市の子どもたちの体力が、全国・全道に比較して、劣っているという面もあるのかもしれませんが、子どもたちのこの調査に取り組む姿勢、子どもたちを指導する先生方の、この調査に対するスタンスの影響が大きいのではないかと考えております。

その意味では、小学校で新体力テストに取り組む意義が、先生方に理解されてきているのではないかなというふうに思っております。

また、関連して、中学生の保健体育の授業に対する意識を見ますと、保健体育の授業が楽しいと回答している生徒の割合が、男子が91.2%、全国88.1%を上回っているのに対して、女子は、全国が81.5%のところ76.9%、かなり低くなっておりまして、普段の授業から、取り組む姿勢が改善されるように、保健体育の先生が、指導していく必要があると考えています。

小学校が順調に伸びてきておりますので、中学校に真剣に頑張ってもらい必要があると思いますので、各学校に働きかけてまいりたいと思っております。

巻末に、改善策として、昨年とほぼ同様の内容を記載しております。

昨年とほぼ同様でありますけれども、各校で、これを徹底していただくように、働きかけてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、平成27年度の岩見沢市における体力・運動能力、運動習慣等調査の報告ということですが、何か、感想、ご意見等ありましたら、お受けしたいと思えます。

○杉野委員 1点教えてください。

膨大な資料をお見せいただきまして、ありがとうございます。

それで、市内の状況については、わかったんですけども、学校間格差というのですか、学力調査でいうと、結構、学校間で格差というのは、大きいと思います。

それに比べて、体力調査の結果というものは、どのようになっているか、もしわかれば教えていただきたいなと思えます。

○兼平指導室長 学校間の格差がないわけではございませんけれども、全国学力・学習状況調査に比べますと、その格差というのは、比較的大きくはないというふうに捉えています。

ただ、確かに、まだ学校間のそれがございますので、それが無くなるように、重点的に上がっていくようにすることが課題です。

○武蔵委員長 はい、それでは、また、目を通していただいて、いろいろ気が付くことがありましたら、会議の際にでも構いませんが、ご意見伺いたいと思います。

ぜひよろしく願いいたします。

他に事務局で、なにかありますか。

○勝田図書館長 お手元に、いわみざわの子ども読書プラン（仮称）という資料を、お配りさせていただいています。

子ども読書活動の推進計画につきましては、平成13年に、既に、施行されました法律に基づきまして、国及び道においては、それぞれ、子どもの読書活動の推進に関する計画を策定しているところでございます。

道教委においては、平成25年に策定いたしました、第3次計画の中で、平成29年度までに、すべての市町村で計画することという1項目が掲げられました。

岩見沢市におきましては、既に、子どもの読書活動を推進しているという実態がございましたので、改めて、計画を策定する必要はないという考えで、今日まで来ていたものでございます。

しかしながら、国・道の状況を踏まえまして、またすべての子どもが心豊かに生きるための本との出会いと生涯にわたる読書活動の推進は、岩見沢市の子どもたちにとって大変重要であるという考え、すでに関係各課と連携を図りボランティアとの協働により、新たな取組や多彩な事業を実施していただきましたことから、図書館が中心になって、子どもの読書活動推進計画のたたき台を取りまとめることといたしました。

関係各課と検討会を開催し、「心豊かに生きるための本との出会いと生涯にわたる読書活動の推進」を目標に掲げまして、現在実施している事業を4つの基本方針毎に取りまとめたものでございます。

具体的には、図書館を中心に、学校教育課、指導室、子ども課、また、健康づくり推進課等の関係する事業が入っております。

現在、図書館協議会の委員の皆さまにも、それぞれ意見をいただいているところでございますが、この場をお借りして、委員の皆様にご報告させていただくとともに、改めてお気づきの点、またご意見などをいただければ、参考にさせていただき、計画を策定してまいりたいと考えております。

3月の完成に向けて取り進めていますことを、ご報告させていただきます。

以上でございます。

○武蔵委員長 子どもの読書プランについての中間報告でした。

現実、いろいろな活動が既に始まっているので、改めて、ひとつにまとめたものを作るということでしょうか。

これもまた目を通していただいて、ご意見があれば、図書館長のほうに、直接言っていただいて結構でございます。次回の会議でもしあれば、お伺いしたいと思います。

ところで、できあがった資料は、どちらで見られますか。

○勝田図書館長 どなたでも見られるようにいたします。

各学校であったり、教育関係機関に配布するほか、現在、学校施設関係も含めまして、どなたにでも配れるように、概要版を作成しているところです。

子どもの成長段階に応じて、事業の取り組みがわかる、カラー刷りのA3版ふたつ折というもので、委員の皆様には事前に見ていただきたいと思っています。

○武蔵委員長 はい、わかりました。

よろしいでしょうか。

他にお持ちの方いらっしゃいますか。

特に無ければ次回の定例会の日程について、打ち合わせをさせていただきたいと思えます。

第3火曜日は3月15日になりますが、3月は議会の関係もありまして、できれば、3月18日金曜日、午後2時からの開催としたいと思えますが、よろしいでしょうか。

場所については、であえーる岩見沢4階の会議室です。

3月の定例会につきましては、3月18日金曜日、午後2時からと決定させていただきます。

それでは、以上をもちまして、第2回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労様でした。

午後3時24分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員